# シラバス参照

タイトル「**2024年度危機管理学部(公開用)**」、フォルダ「**（共通）**」
シラバスの詳細は以下となります。

戻る

| | | | |
|---|---|---|---|
| 科目ナンバー | RMGT/SSCS1139 | | |
| 科目名 | 政治学１ | | |
| 担当教員 | 瀧川　修吾 | | |
| 対象学年 | 1年,2年,3年,4年 | 開講学期 | 前期 |
| 曜日・時限 | 火３ | | |
| 講義室 | 1207 | 単位区分 | 選 |
| 授業形態 | 講義 | 単位数 | 2 |
| 科目大分類 | 総合教育 | | |
| 科目中分類 | 総合基礎 | | |
| 科目小分類 | 文化教養 | | |
| 科目の位置付け（開発能力） | ■ＤＰコード-学修のゴールを示すディプロマポリシーとの関連<br>DP1-D　［市民的素養・市民的教養］市民的素養と参加コミュニティに積極的な変化をもたらすために，知識・スキル・価値観・動機を動員することができる。<br>DP4-I　［理解力・分析力］文章表現、数値データを適切に扱いつつ、情報の収集と取捨選択、分析と加工を有効かつ円滑に行い、課題の解決につなげることができる。<br>DP7-C　［他者理解・倫理観・公共心］人間の行動の正誤に関する推論に正面から取り組み，社会的な存在としての自己の行動原理を獲得することができる。<br>■ＣＲコード-学修を通じて開発するマインドセット・ナレッジ・スキルを示すコモンルーブリック（ＣＲ）との関連<br>C1　倫理的思考と公共性の把握（30%）<br>D1　市民的教養と参加（40%）<br>I1　理解と読解（30%） | | |
| 教員の実務経験 | 独立行政法人大学入試センター教科科目第一委員会委員として2015年4月より2018年3月まで勤務し，社会科学に関する基礎的かつ広範な知識の在り方について検討しました。<br>第１回 | | |
| 成績ターゲット区分 | ■能力開発の目標ステージとの対応<br>２進行期～３発展期 | | |
| 科目概要・キーワード | 政治とは利害調整のしくみであるため、国家にせよ集団にせよ、人が集まるところに政治は生じます。そうであるにもかかわらず、政治に無関心な人が増え、民主主義の根幹を揺るがす事態に陥っています。本講義では、政治学の基礎を学び、各自が自分と政治との関係を見直し、政治にかかわる諸問題を積極的かつ主体的に考察・分析できるようになり、民主主義の危機と対峙する力を涵養します。授業形態は講義形式により行います。なお、対応するコンピテンスに基づき効果的な授業方法として、又は各授業を補完・代替するためオンライン授業を一部取り入れる場合があります。<br>（キーワード）・政治学・歴史・思想・国家 | | |
| 授業の趣旨 | ■副題<br>古代から近代までの政治社会の特質や諸問題，そこで生まれた政治思想<br>■授業の目的<br>古代から近代までの政治社会の特質や諸問題と，そこで生まれた代表的な政治思想を学ぶことで，政治社会や危機管理に関する基礎知識を習得し，①文化的素養や市民的教養を涵養するとともに，現実の社会で生起する様々な問題に関する②理解力・分析力，多様な価値観を受容する③倫理観・公共心を身につけることを目的とします。<br>■授業のポイント<br>皆さんの多くは，これまで政治の「制度」や「機構」を暗記することを主として学んできたものと思われます。これも重要には違いなく，先例や権力に付き従い，受動的に生きていくなら | | |

| | |
|---|---|
| | ば，政治に関する知識はそれで十分と言えるでしょう。しかし、政治とは人類が進化の過程で獲得したコミュニケーション技術の，最大にして最高峰のものです。将来に起こりうる危機を見据え，より良い社会の在り方を模索していくには，過去との対話によって「政治とは何か」を根本から考えてみる必要があります。そうした能力を涵養するために，古代から近代までの政治社会の歴史を俯瞰すると共に，そのなかで生まれた政治思想につき，代表的なものを幾つか取り上げて解説します。 |
| 総合到達目標 | ■古代から近代までの政治社会の特質や諸問題を，そこで生まれた代表的な政治思想と共に理解する。<br>・古代における政治社会の特質や諸問題，代表的な政治思想を説明できる。（第6回～第8回）<br>・中世における政治社会の特質や諸問題，代表的な政治思想を説明できる。（第9回～第10回）<br>・近代における政治社会の特質や諸問題，代表的な政治思想を説明できる。（第11回～第14回）<br>■政治に関する基礎的な知識と，政治について積極的・主体的に思考する能力を身につける。<br>・政治学の基礎的な理論や用語について理解し説明できる。（第1回～第5回，第15回） |
| 成績評価方法 | ■発言点・リアクションペーパー　毎回（20%）：適用ルーブリック C1，D1，I1<br>（評価の観点）積極的かつ主体的に講義に参加し，講義内容を理解することができているかどうかを評価します。<br>（フィードバックの方法）寄せられた意見や疑問点などについて，その場で，あるいは次回，解説をします。<br>■小テスト　原則，毎回（40%）：適用ルーブリック　C1，D1，I1<br>（評価の観点）講義内容および出題意図について理解し，自分の言葉で説明することができているかどうかを評価します。<br>（フィードバックの方法）：テスト終了後ないし次回，解説を行います。<br>■ノート点　最終回に行う（20%）：適用ルーブリックC1，D1，I1<br>（評価の観点）講義内容を理解し，適切に記録することができているかどうかを評価します。<br>（フィードバックの方法）極力，その場で点数を付け，改善点について口頭で指導します。<br>■レポート点　各自で議題を設定し，できたところで提出（20%）：適用ルーブリック　C1，D1，I1<br>（評価の観点）講義内容を理解し，知識が定着しているか，それを自分の言葉で説明することができているか，レポートの形式要件を満たしているかどうかを評価します。<br>（フィードバックの方法）時間的猶予があれば，添削をして返却します。 |
| 履修条件 | 特にありません。 |
| 履修上の注意点 | 政治学２も履修することが望ましいです。 |
| 授業内容 | |

| 回 | 内容 |
|---|---|
| 1 | ①授業テーマ<br>　ガイダンス<br>②授業概要<br>　授業全般のテーマや内容，使用教材，スケジュール，成績評価の方法などについて説明を行います。社会科学に関する基礎的かつ広範な知識の在り方について検討した実務経験に基づき，皆さんのキャリア形成に役立つ実践的な話をします。（C1・D1・I1）総合到達目標を意識して学んだことを自分の言葉で説明できるようになる。<br>③予習（120分）<br>　シラバスに目を通し，高等学校で学んだ関連知識をノートに書き出して整理をしておく。<br>④復習（120分）<br>　授業を振り返り，授業の目的と到達目標を確認する。 |
| 2 | ①授業テーマ<br>　人類と政治（人間は政治的動物か）<br>②授業概要<br>　古来，人間は政治的動物（zoon politikon）であるとされてきました。近年，複数種進化説が常識となった化石人類の進化の歴史を素材に，この古くて新しい問題について考察し，我々にとって社会や政治がいかなる意味を持つのかについて理解を深めることを目的とします。（C1・D1・I1）総合到達目標を意識して学んだことを自分の言葉で説明できるようになる。<br>③予習（120分）<br>　高等学校で学んだ教科書等の当該箇所を参照し，人類進化の歴史について復習した上で講義に臨むようにする。<br>④復習（120分）<br>　授業を振り返り，学習内容を整理しておく。 |

| | |
|---|---|
| 3 | ①授業テーマ<br>政治と政治学①（政治とは何か：国家現象説と集団現象説）<br>②授業概要<br>政治を１つの“現象”として捉える時，それは“国家”がなければ出現しないものなのか，それとも“集団”があれば出現するものなのか。この２つの学説について考察することで，政治学という学問の性質を知ると共に，皆さん自身の政治に対する認識を，あらためて整理してもらいます。（C1・D1・I1）総合到達目標を意識して学んだことを自分の言葉で説明できるようになる。<br>③予習（120分）<br>上記の２つの学説について，自らが支持する立場とその理由について400字程度で簡潔に纏めてくる。<br>④復習（120分）<br>授業を振り返り，学習内容を整理しておく。 |
| 4 | ①授業テーマ<br>政治と政治学②（政治学の細分化と専門化）<br>②授業概要<br>今日，政治学は幾つかの専門分野にわかれ，様々な視点から研究がなされています。その概容を把握することが目的の１つで，またその中から時事的な問題との関連で特定のテーマを選び，やや掘り下げた解説もするので，少しく専門のエッセンスに触れることも目的とします。（C1・D1・I1）総合到達目標を意識して学んだことを自分の言葉で説明できるようになる。<br>③予習（120分）<br>ICTを用い，政治学にはどのような専門科目があるのか調査の上で講義に臨む。<br>④復習（120分）<br>授業を振り返り，学習内容を整理しておく。 |
| 5 | ①授業テーマ<br>政治と政治学③（政治学の対象と関連領域）<br>②授業概要<br>政治学は細分化・専門化だけではなく，社会のあらゆる事象と関連を持つ“政治”を研究対象とするため，他の学問領域とも密接な関係をもっています。前回同様，概容の把握だけでなく，少しく踏み込んだ研究に触れることも目的とします。（C1・D1・I1）総合到達目標を意識して学んだことを自分の言葉で説明できるようになる。<br>③予習（120分）<br>４回目の講義の終わりに指示された内容に取り組む。<br>④復習（120分）<br>授業を振り返り，学習内容を整理しておく。 |
| 6 | ①授業テーマ<br>古代の政治社会と政治学①（古代都市国家と直接民主制）<br>②授業概要<br>古代の政治社会がどのようなものであったのかにつき，その大要を把握し，特に古代ギリシャの都市国家や，そこで行われた直接民主制について理解を深めることを目的とします。（C1・D1・I1）総合到達目標を意識して学んだことを自分の言葉で説明できるようになる。<br>③予習（120分）<br>「神権政治」と「祭政一致」の意味を政治学事典等で調べておく。<br>④復習（120分）<br>授業を振り返り，学習内容を整理しておく。 |
| 7 | ①授業テーマ<br>古代の政治社会と政治学②（ソクラテスとプラトンの哲学）<br>②授業概要<br>古代の政治思想を代表する名著『国家』を中心に，プラトンとその師ソクラテスの生き方や人間観，国家観などを学び，政治の本来的な役割や政治と教育との関係について理解を深めることを目的とします。（C1・D1・I1）総合到達目標を意識して学んだことを自分の言葉で説明できるようになる。<br>③予習（120分）<br>ソクラテスとプラトンの略歴について人名辞典等で調べておく。<br>④復習（120分）<br>授業を振り返り，学習内容を整理しておく。 |
| 8 | ①授業テーマ<br>古代の政治社会と政治学③（哲人政治とポリティア）<br>②授業概要<br>前回に引き続き，古典的名著，プラトンの『国家』やアリストテレスの『政治学』な |

| | |
|---|---|
| | どを素材に，理想の政治とは何かについて，また同時に民主政治の問題点について理解を深めることを目的とします。（C1・D1・I1）総合到達目標を意識して学んだことを自分の言葉で説明できるようになる。<br>③予習（120分）<br>アリストテレスの略歴について人名辞典等で調べておく。<br>④復習（120分）<br>授業を振り返り，学習内容を整理しておく。 |
| 9 | ①授業テーマ<br>中世の政治社会と政治学①（封建制とその変容）<br>②授業概要<br>ひと言で中世ヨーロッパと総括してしまうことには様々な困難が伴いますが，いわゆる封建制の二元的な権力構造や農業を中心とした共同社会の特質と変化につき，カール大帝の統治行為などを手がかりに大要を把握することを目的とします。（C1・D1・I1）総合到達目標を意識して学んだことを自分の言葉で説明できるようになる。<br>③予習（120分）<br>カール大帝の略歴について歴史事典や年表等で調べておく。<br>④復習（120分）<br>授業を振り返り，学習内容を整理しておく。 |
| 10 | ①授業テーマ<br>中世の政治社会と政治学②（中世の神学と政治思想）<br>②授業概要<br>キリスト教の影響を色濃く受けた中世ヨーロッパの政治思想がいかなるものであったのかにつき，トマス・アクィナスらを手がかりに把握し，そのなかでも異彩を放つ，マキャベリの『君主論』を素材に，危機と政治の関係について理解を深めることを目的とします。（C1・D1・I1）総合到達目標を意識して学んだことを自分の言葉で説明できるようになる。<br>③予習（120分）<br>「マキャベリズム」の意味を辞典等を用いて調べておく。<br>④復習（120分）<br>授業を振り返り，学習内容を整理しておく。 |
| 11 | ①授業テーマ<br>近代の政治社会と政治学①（絶対王政と市民革命）<br>②授業概要<br>商工業の発達や，ルネッサンス・宗教改革がヨーロッパ社会にもたらした衝撃と，その結果，出現した絶対王政につき，広範に学び，近代市民革命がもたらした自由主義や立憲主義につき，その大要を把握することを目的とします。（C1・D1・I1）総合到達目標を意識して学んだことを自分の言葉で説明できるようになる。<br>③予習（120分）<br>「ルネッサンス」と「宗教改革」の意味を社会学事典等で調べておく。<br>④復習（120分）：授業を振り返り，学習内容を整理しておく。 |
| 12 | ①授業テーマ<br>近代の政治社会と政治学②（中世の幕引き，T.ホッブズ）<br>②授業概要<br>基本的人権は人間に固有のものとされるが，果たして本当にそのような権利は存在するのでしょうか。古典的名著『リバイアサン』(1651)を手がかりに，権力も法律も無い人間の自然状態がいかなるものであったのか，また本来的に政治に求められるものが一体何であるのかにつき，探求することを目的とします。（C1・D1・I1）総合到達目標を意識して学んだことを自分の言葉で説明できるようになる。<br>③予習（120分）<br>ホッブズの略歴について辞典等で調べておく。<br>④復習（120分）<br>授業を振り返り，学習内容を整理しておく。 |
| 13 | ①授業テーマ<br>近代の政治社会と政治学③（革命のイデオローグ？，J.ロック）<br>②授業概要<br>所有権絶対の原則は近代法の三大原則の一つとされ，そうした価値観のもと，近代の資本主義社会は飛躍的な発展を遂げました。まさしくその典拠とも言うべき『統治二論』(1690)のなかで論じられた，王権神授説の否定，自然状態論と社会契約論，労働価値説，権力分散，革命権などの重要な理論について理解を深めることを目的とします。（C1・D1・I1）総合到達目標を意識して学んだことを自分の言葉で説明できるようになる。<br>③予習（120分）<br>ロックの略歴について辞典等で調べておく。 |

| | | |
|---|---|---|
| | | ④復習（120分）<br>　授業を振り返り，学習内容を整理しておく。 |
| | 14 | ①授業テーマ<br>　近代の政治社会と政治学④（フランス革命の導火線，J.J.ルソー）<br>②授業概要<br>　『社会契約論』(1762)の著者ルソーは，徹底した民主政治の在り方を模索した思想家で，フランス革命だけでなく，日本の自由民権運動にも強い影響を及ぼすことになりました。前２回の講義に引き続き，社会を変革した政治思想の持つ普遍的なエネルギーの一端に触れ，政治とは何かにつき，探求することを目的とします。（C1・D1・I1）総合到達目標を意識して学んだことを自分の言葉で説明できるようになる。<br>③予習（120分）<br>　ルソーの略歴について辞典等で調べておく。<br>④復習（120分）<br>　授業を振り返り，学習内容を整理しておく。 |
| | 15 | ①授業テーマ<br>　総括，“現代”と政治学<br>②授業概要<br>　14回の授業での学びの総括を行うと共に，政治学２で対象としている“現代”という時代区分につき，諸説を紹介しつつ，政治学が対峙する“現代”とはいかなるものなのかについて概説します。（C1・D1・I1）総合到達目標を意識して学んだことを自分の言葉で説明できるようになる。<br>③予習（120分）<br>　14回の講義を振り返り，資料やノートを整理しつつ，不明な点や新たな疑問点等をまとめたメモを持参する。<br>④復習（120分）<br>　授業全体を振り返り，ここで学んだ内容を卒業論文や志望する進路等において活用できるように整理しておく。 |
| 関連科目 | | 「政治学２（RMGT/SSCS1140）」と関連します。 |
| 教科書 | | 特に使用しません。原則，毎回，レジュメや資料を配付します。 |
| 参考書・参考ＵＲＬ | | 有賀弘ほか『政治 第２版 個人と統合』（東京大学出版会），黒川貢三郎ほか『改訂 教養政治学』（南窓社）など，講義の中で適宜，紹介します。 |
| 連絡先・オフィスアワー | | ■連絡先　開講時に告知します。メール（takigawa.shugo@nihon-u.ac.jp）をはじめ、LINEやClassroomも積極的に使います。<br>■オフィスアワー<br>　月・火曜日の昼休み　それ以外の時間については、メール等で事前にアポイトメントとをとることにより研究室で対応します。 |
| 研究比率 | | |

戻る

Copyright (c) 2016 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.